



香坂山遺跡

36,800年前の後期旧石器時代初頭の遺跡で、日本で初めて「大型石刃・小石刃・尖頭形剥片」がセットで発見されました。この石器セットは、ユーラシア大陸の初期後期旧石器時代にみられるものであり、我々の祖先がユーラシア大陸から日本列島にやってきたことを示しています。

他にも刃部磨製石斧や、最古の「石棒」と考えられる結晶片岩製品などが出土しています。また、保管された黒曜石や焼けた礫群など、人々がこの場所で生活していたことを示す遺物も見つかっています。

我々の祖先である現生人類が、日本列島でどのように暮らし始めたのか。その鍵を握る大変重要な遺跡です。

文化財フォーラム

「香坂山遺跡の発掘が明らかにした "日本人"の起源」

2024.2.10 (土)

13:30-16:00

佐久平交流センター 第5会議室

会場で出土品の一部を展示します

基調報告

「世界の中の香坂山遺跡」

— 学術発掘調査から見えてきたもの —

国武 貞克 (国立文化財機構奈良文化財研究所)

調査報告

「範囲確認調査の成果」

久保 浩一郎 (佐久市教育委員会文化振興課)

パネリストセッション

「"日本人"の起源の解明につながる 香坂山遺跡とその活用」

パネリスト 佐藤 宏之 (東京大学大学院人文社会系研究科
日本旧石器学会会長)
芝 康次郎 (文化庁 文化財第二課)
国武 貞克 (国立文化財機構奈良文化財研究所)
須藤 隆司 (明治大学黒曜石研究センター)
吉岡 道明 (佐久市教育委員会 教育長)

コーディネーター 堤 隆 (明治大学黒曜石研究センター)

定員 申込み不要 先着 180 名 (参加費無料)

お問合せ 佐久市教育委員会 文化振興課 文化財事務所
Tel: 0267-63-5321 Mail: bunkazai@city.saku.nagano.jp



主催: 佐久市教育委員会 共催: 国立文化財機構奈良文化財研究所

後援: 明治大学黒曜石研究センター・佐久考古学会